

『追悼のざわめき』が映画史に刻まれたとき、映画は死 ぬ。だって、この映画は生きているから。不幸にして未 だ『追悼のざわめき』を観ていない人は、このチャンス を逃さないで欲しい。それでも、観ない人は、映画を

るな。愛を語るなよ。映画監督 矢崎仁司

第6回悶★カーニバル 聖バレンタイン

於甲府·桜座

昼の部/開場 15:00 開映 15:30 終映 18:00 夜の部/開場 18:10 開映 18:30 終映 21:00 前売 2,000 円 当日 2,200 円

問い合わせ、予約は

atemzeit@hotmail.com

又は桜座へ http://www.sakuraza.jp/

〒400-0032 山梨県甲府市中央 1-1-7 TEL055-233-2031

スペシャル

(映画監督)

家田祐明(新宿 K's cinema 番組担当

日向正親(悶★カーニバル主宰)

夜の二回上映が決定!

## 松井良彦監督よりメッセージ



山梨県甲府。初めて上映される地。

私が上映される地を訪ねるとき、必ず、心地よい緊張感 と期待感が、私の中で芽生えます。

「その地で出会う人と、何を話し、何が生れるのか」と。 それは、とても嬉しくて、興味深いからです。

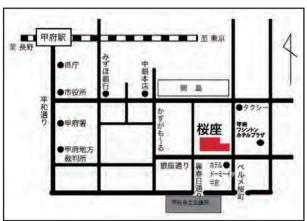
今回は初めての地、甲府ですから、尚のことです。

「皆さん。心から楽しみにしています。一人でも多くの方々 と出会いたいです。よろしくお願いしますし

## 家田祐明氏による『追悼のざわめき』 惹句

愛に飢えた異形は30年前に芽を出し、震災後の今も咲い ている。汚染されたコンクリートの隙間からでも咲いて いる。踏みつけられても引き抜かれても何度も狂い咲い てくる。異形の花にしやがった国がある。人間がいる。我々 がいる。糞みたいにゴミみたいに街を闊歩する我々に憎 悪をもって花は咲いている。(抄)

## 仲井まみ子楽場



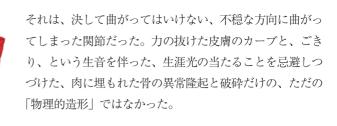
聖バレンタインデー特別記念 第6回 悶★カーニバル 松井良彦監督作品 映画『追悼 のざわめき』上映会 於甲府・桜座

(1988年/日本/2007年デジタル・リマスター版/モノク ロ/スタンダード/150分)/出演:佐野和宏、仲井まみ 子、大須賀勇、村田友紀子、隈井士門

2015年2月14日(土) 「昼の部」15時30分~「夜の部」 18時30分~/前売り2000円 当日券2200円

ghost temple **ROLLING SPECIAL** 

THE CRAZY RIDER http://atemzeit.fem.jp/gt/ http://www.facebook.com/GhostTemple/ http://www.twitter.com/ghost\_temple/



光の白は、あらゆる色の光を混ぜ合わせ、最も明るくした 時に生まれる、原理である。対照的に、光が反射して生ま れる黒は、あらゆる色を混ぜ合わせた末に光を当てること で生まれる、絶対である。その対比と融合に、数多くの観 客たちは、時が経つのを忘れ、劇場のシートに吸い込まれ ていった。

表面に現れた多くの不穏なもの。その内奥には、原理と絶 対が入り混じった「なぜ」が蠕動している。なぜ、咲いて はいけないのか。なぜ、生まれてはいけないのか。なぜ。

1956年(昭和31年)。ある赤ん坊が兵庫県西宮市で生まれ た。それから32年後の1988年(昭和63年)、バブルの絶 頂だったその時期に、たくましく成長した青年は映画監督 となり、『追悼のざわめき』という映画を創った。脚本を 読んだ寺山修司に「映画になったら、事件だね」と言わし めたこの白黒映画は、拒否反応と熱狂的な賞賛が入り混じ る中、若者を熱狂させ、世界中を駆けめぐった。同世代で もあり、また彼の師でもある石井岳龍(旧名・聰亙)をは じめ、山本政志、長崎俊一、そして、矢崎仁司といった才 能ほとばしる映像作家たちと火花を飛ばしあった時代に、 『追悼のざわめき』は、あらゆる色を終わらせるための光 として誕生し、命の脈動(ざわめき)を今もまっすぐに、黒々 と、網膜が焼けるほど照らしつづけている。

この映画に冠せられた「カルトムービー」という呼称が、 衝撃を和らげるためのクッション、水割りの水、「アンダー コントロール」であることを、桜座で体験するだろう。そ して呼称、呼び名の世界から、あらゆるものが光の世界に 戻っていく瞬間をぜひ目撃して欲しい。

クランク・インから 30 年。2014 年には、新宿 K's cinema で、何十回目かの再上映が催された。K's cinema のスタッ フから上映の話を聞いたとき、ぜひウェブサイトをやりた い、と手を挙げた。それから数か月後、松井監督をはじめ 多くの人々とのディスカッションを経てサイトが完成し た。松井監督へのロングインタビュー、当時の劇場パンフ レットのデジタル復刻、K's cinema での上映の模様など、 この30年間を横断する資料を多数、掲載している。ぜひ、 ご覧あれ!

日向正親(悶★カーニバル主宰)

松井良彦監督作品「追悼のざわめき」公式サイト

http://www.tsuito-fc.com/

